



BlueXPの優れた経済性を活用

BlueXP economic efficiency

NetApp
March 18, 2024

目次

BlueXPの優れた経済性を活用	1
テクノロジーの更新を評価する	1
容量の問題を確認して修正	9
キャパシティプランニングのステータスを確認します	9
容量を追加します	10
コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放します	11
もう一度確認するようにリマインダーを設定します	12

BlueXPの優れた経済性を活用

テクノロジーの更新を評価する

既存のアセットがあり、テクノロジーの更新が推奨されるかどうかを判断するには、BlueXPの経済性に優れた機器更改（Tech Refresh）オプションを使用します。現在のワークロードの簡単な評価を確認して推奨事項を確認することも、過去90日以内にAutoSupportログをNetAppに送信した場合は、新しいハードウェアでのワークロードのパフォーマンスを確認するためのワークロードシミュレーションを提供することもできます。

- [\[更新の確認テストを受ける\]](#)
- [\[新しいハードウェアでワークロードをシミュレート\]](#)

システムは、次の条件に基づいて機器更改（Tech Refresh）の候補とみなされます。

- テクニカルサポート契約の終了が近づいています
- ハードウェアライフサイクルの終了が近づいている



この機能には、BlueXPの経済効率化機能またはNetAppデジタルアドバイザーからアクセスできます。

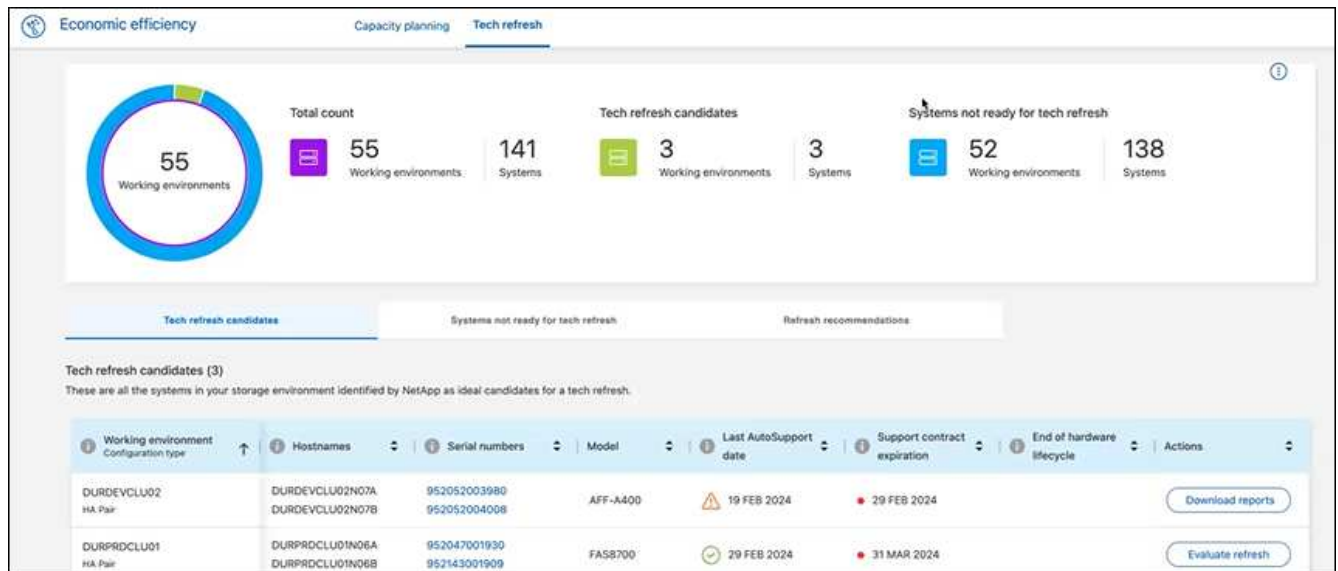
更新の確認テストを受ける

この評価には、次の手順が含まれます。

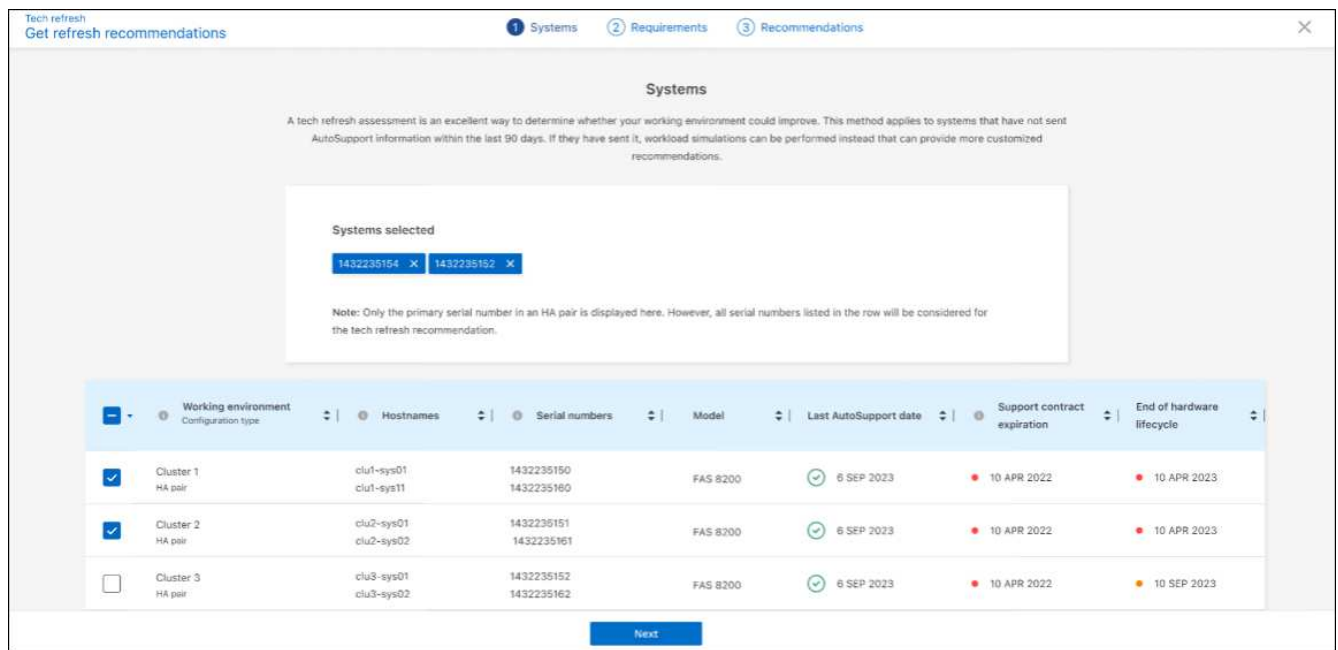
- 評価するシステムを選択します。
- 環境、ワークロードの種類、容量、パフォーマンス、予算に関する要件を指定します。
- 環境のパフォーマンスを向上させる可能性がある適切な製品やクラウドサービスに関する推奨事項を確認できます。

手順

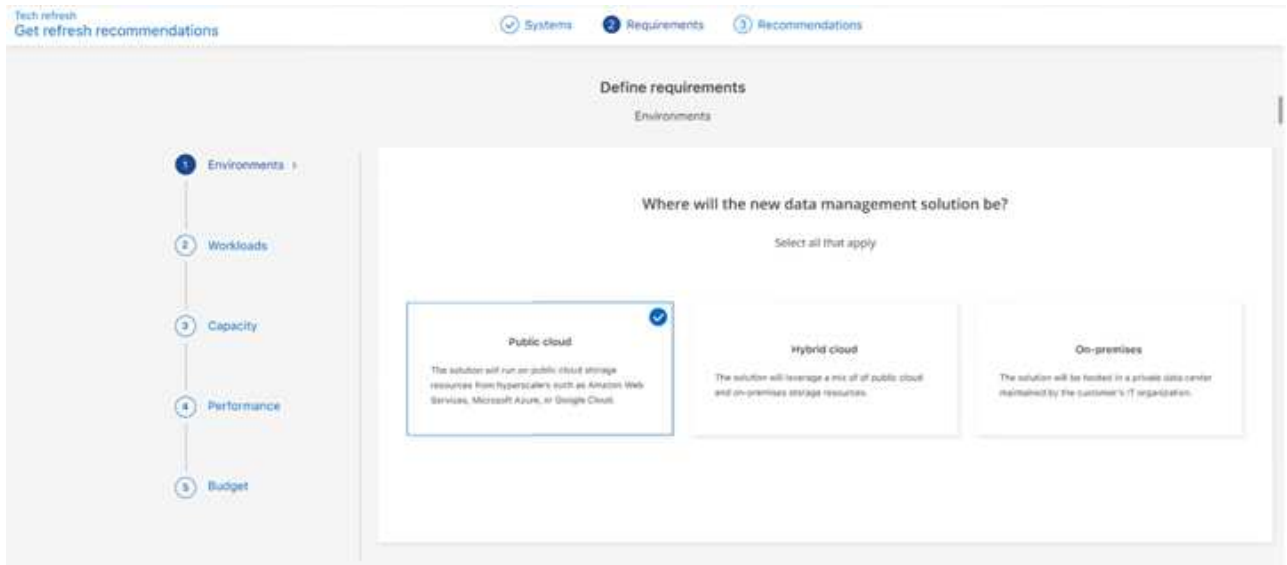
1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Tech Refresh *を選択します。



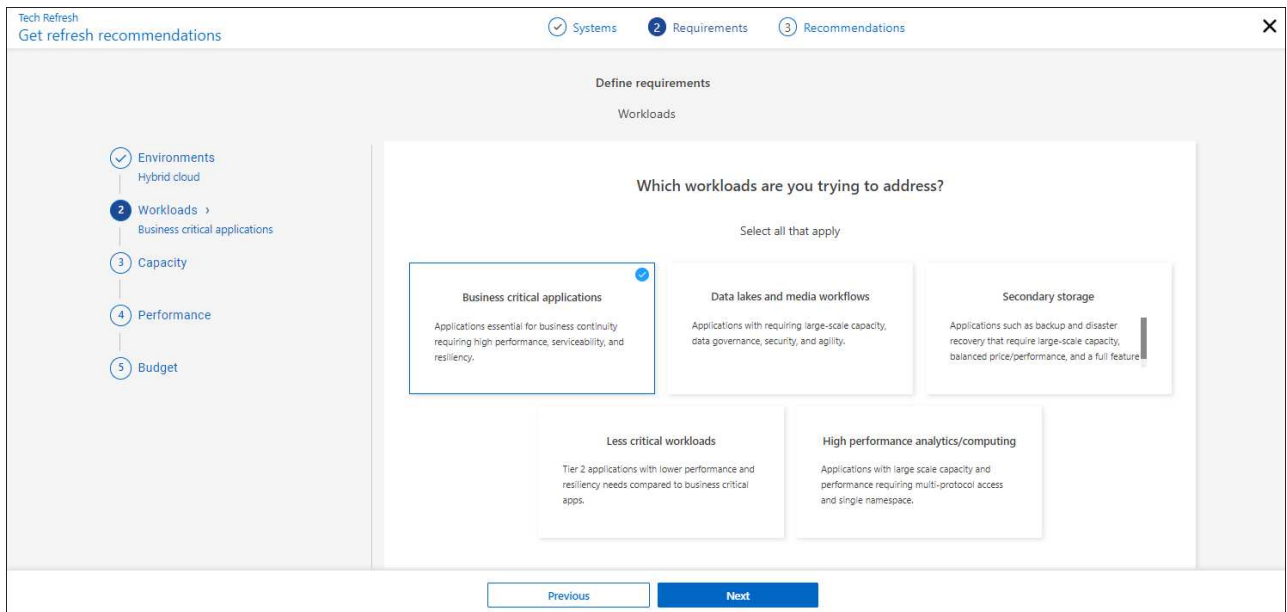
2. [機器更改候補]タブには、機器更改のメリットがある可能性があるすべての作業環境が表示されます。
3. 評価を取得する作業環境を選択します。
4. [Actions]列で、*[Evaluate refresh]*を選択します。



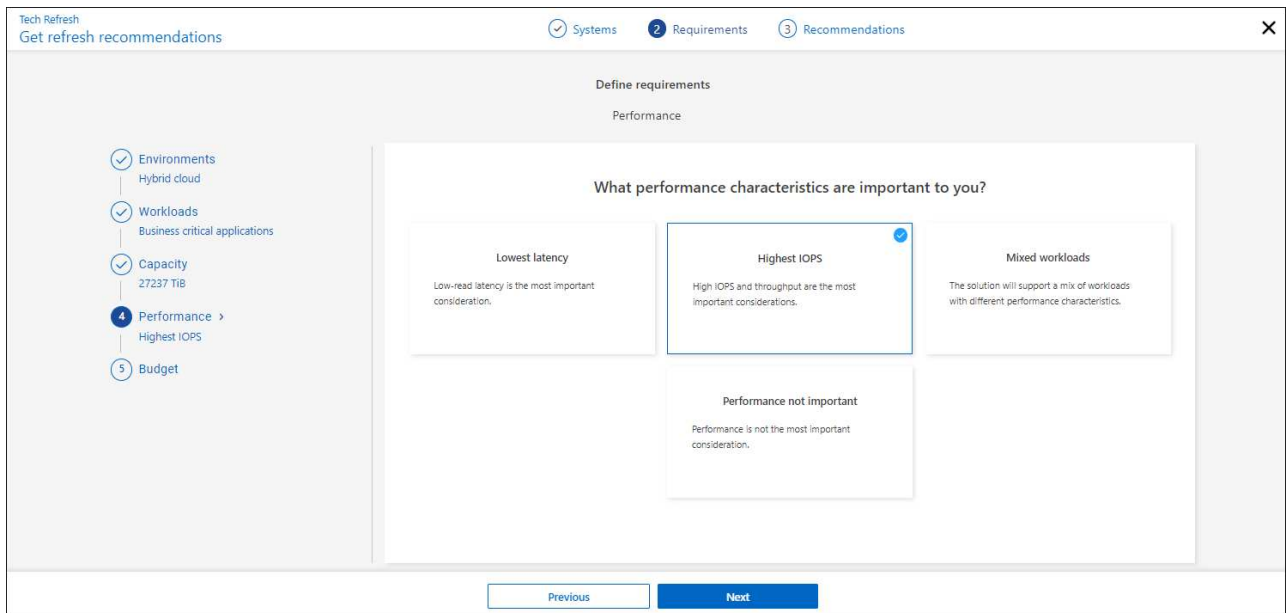
5. 評価を実行するシステムを選択し、*[次へ]*を選択します。
6. 要件を定義します。
 - a. 環境：環境のタイプ（パブリッククラウド、ハイブリッドクラウド、オンプレミス）を選択します。



- b. ワークロード：ビジネスクリティカルなアプリケーション、ハイパフォーマンスな分析とコンピューティング、データレイクとメディアのワークフロー、セカンダリストレージ、重要度の低いワークロードなど、処理するワークロードのタイプをすべて選択できます。



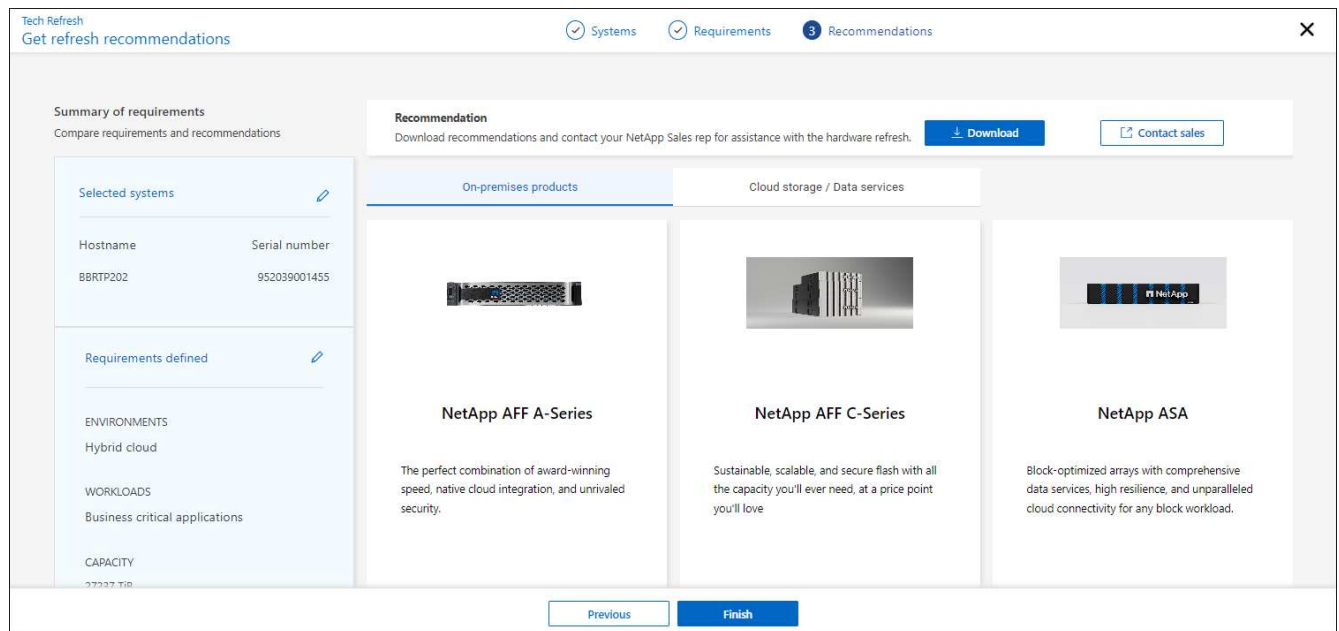
- c. 容量：必要な容量をTiB単位で入力するか、スライダをスライドして値に移動するか、スライダの値にカーソルを合わせて*[次へ]*を選択します。
- d. パフォーマンス：処理したいパフォーマンスの側面（レイテンシの最小化、IOPSの最大化、混在ワークロード、パフォーマンスの重要性なし）を選択し、*[次へ]*を選択します。



- e. 予算:予算を米ドルで入力するか、スライダーを値までスライドさせるか、スライダーの値にカーソルを合わせて*次へ*を選択します。

選択したオプションのさまざまなタブに、一連の推奨事項が表示されます。

7. 推奨事項を確認します。



8. 次のいずれかまたは両方を実行します。

- a. 推奨事項のPDFをダウンロードするには、*[ダウンロード]*を選択します。
- b. 推奨事項についてNetAppの営業担当者に問い合わせるには、*営業に問い合わせる*を選択します。Webページには、NetAppの営業担当者に連絡するためのオプションが表示されます。

9. [完了]を選択します。

すでに実施されたテクノロジー更新評価を表示する

すでに実施したテクノロジー更新の評価を確認し、推奨事項を再度確認することができます。

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Tech Refresh *を選択します。
2. [機器更改候補]タブを選択します。このタブには、機器更改の評価を受けたすべてのシステムが表示されます。次に、そのシステムの行の[アクション]メニューからを選択して、そのシステムの評価と推奨事項を表示します。
3. [Evaluate refresh options]ページで、*[View recommendation]*を選択します。
4. 更新に関する推奨事項を表示します。

The screenshot displays the 'Tech Refresh' interface with the 'Recommendations' step active. On the left, a 'Summary of requirements' panel lists 'Selected systems' (hostname BBRT202, serial number 952039001455) and 'Requirements defined' (Hybrid cloud environment, Business critical applications workload, 27227 TB capacity). The main area shows three recommendation cards: 'On-premises products' (NetApp AFF A-Series), 'Cloud storage / Data services' (NetApp AFF C-Series), and 'NetApp ASA'. Each card includes a product image and a brief description of its benefits. At the top right, there are 'Download' and 'Contact sales' buttons. At the bottom, 'Previous' and 'Finish' buttons are visible.

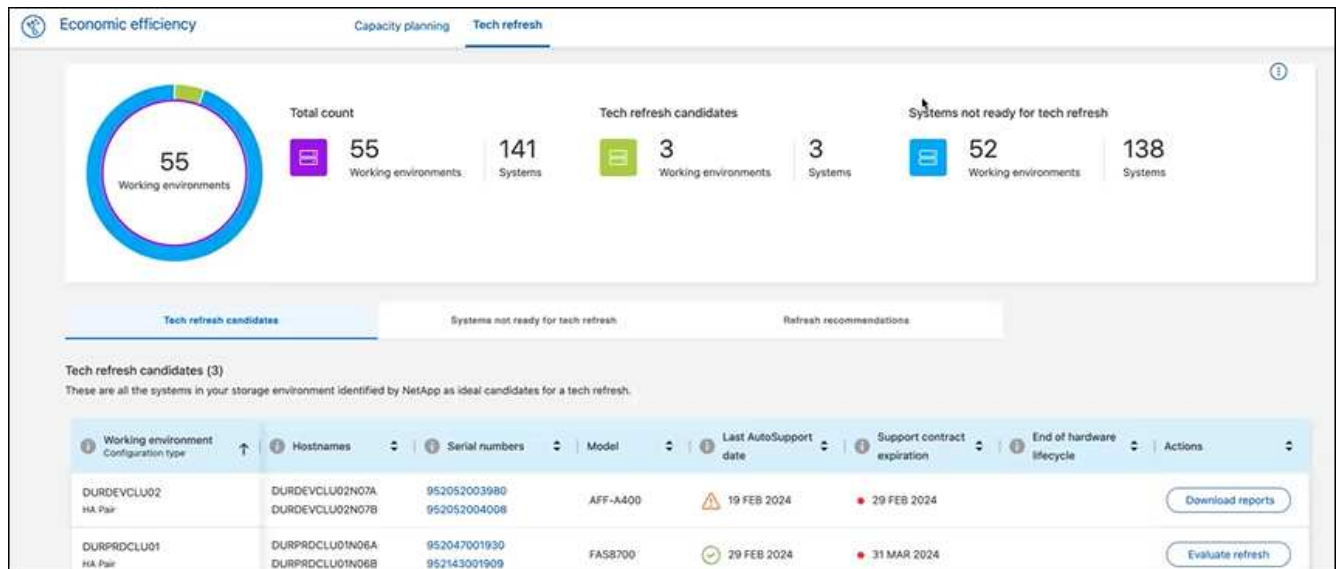
新しいハードウェアでワークロードをシミュレート

過去90日以内にAutoSupportログインをNetAppに送信した場合、NetAppはシミュレーションを提供して、新しいハードウェアでのワークロードのパフォーマンスを確認できます。

特定のワークロードをシミュレーションに含めたり、シミュレーションから除外したりできます。既存のワークロードリストに表示されていないワークロードを追加することもできます。

手順

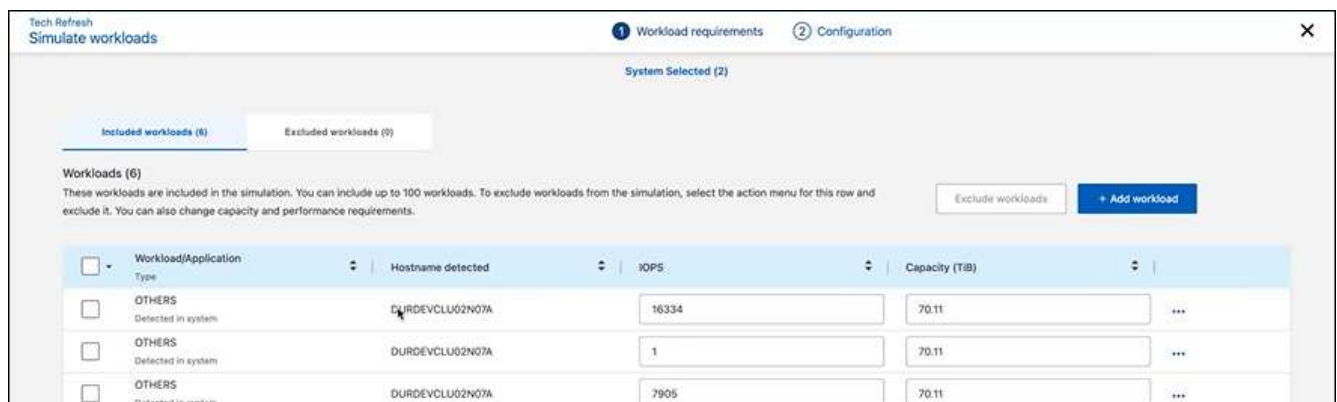
1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Tech Refresh *を選択します。



2. [機器更改候補]タブには、機器更改のメリットがある可能性があるすべての作業環境が表示されます。
3. 評価を取得する作業環境を選択します。
4. [Actions]列で、*[Evaluate refresh]*を選択します。



シミュレーションの準備として、ワークロードの詳細をインポートします。



ページ"]

5. [Simulate Workloads]>[Workload requirements]ページで、次の手順を実行します。
 - a. リストにまだ表示されていないワークロードを追加するには、*[ワークロードの追加]*を選択します。詳細については、を参照してください [\[ワークロードを追加する\]](#)。
 - b. * IOPS * : 必要に応じて、新しいハードウェアのIOPSを変更します。
 - c. 容量 (TiB) : 必要に応じて、新しいハードウェアの容量を変更します。
6. ワークロードを除外するには、[操作]列で*[シミュレーションからワークロードを除外する]*オプションを選択します。



以前に除外したワークロードを含めるには、[除外するワークロード]*タブを選択し、[シミュレーションにワークロードを含める]*オプションを選択します。
。「*次へ*」を選択します。

7. [Configuration]ページで、新しいハードウェアでシミュレートされた結果を確認します。

Selected systems	HOSTNAME	SERIAL NUMBER
	DURDEVCLU02N07A	952052003980
	DURDEVCLU02N07B	952052004008

Workload requirements	Included workloads	Performance required	Capacity in current selection
	6 workloads	IOPS: 29002+	Raw: 1129.53 TB

Recommendation	Configuration	Nodes	ONTAP	IOPS (Max Performance)	Throughput (Max Performance)
AFF A400A FC Bundle	SSD	2 nodes	9.13.1 ONTAP	150114 (Best)	3.17 GBps (Best)
AFF A250A	NVMe SSD	2 nodes	9.13.1 ONTAP	0	0 GBps
AFF A800A	NVMe SSD	2 nodes	9.13.1 ONTAP	0	0 GBps

ページ]



最良の推奨事項は、「最良」の表示で示されます。

8. 推奨事項のPDFをダウンロードするには、*[ダウンロード]*を選択します。
9. 推奨事項についてNetAppの営業担当者に問い合わせるには、次の手順を実行します。
 - a. [連絡先]*を選択します。
 - b. 連絡先の詳細を入力します。
 - c. NetApp営業担当者向けの特記事項を追加します。
 - d. [Confirm and submit]*を選択します。
10. [完了]を選択します。

結果

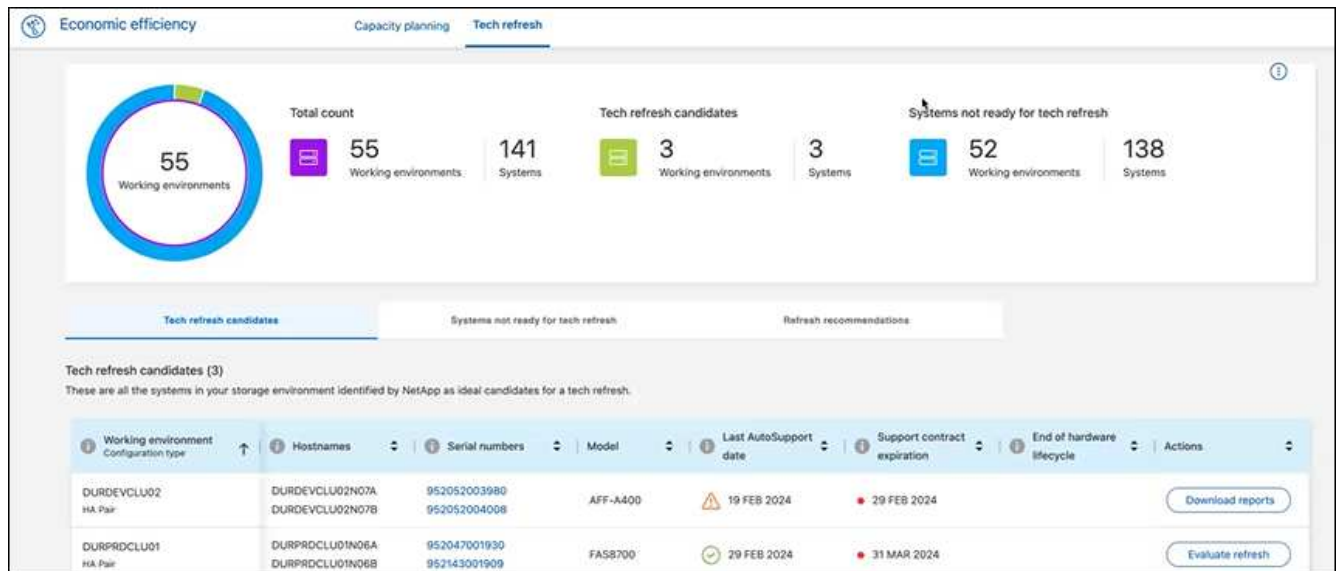
ワークロードシミュレーションの推奨事項がNetApp営業担当者に送信されます。また、推奨事項を確認するEメールも送信されます。ご要望には、NetAppの営業担当者に対応いたします。

ワークロードを追加する

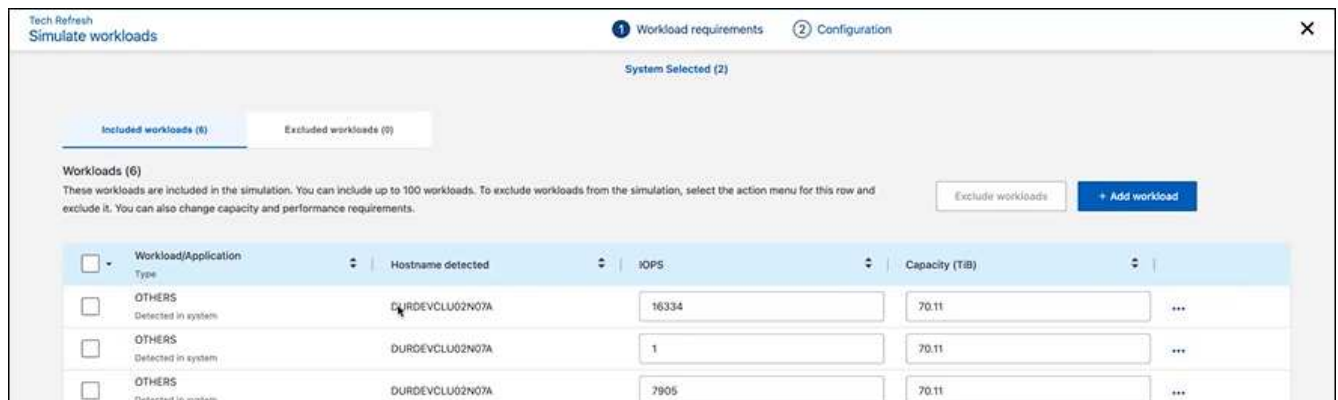
まだリストにないワークロードをワークロードシミュレーションに追加できます。

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Tech Refresh *を選択します。

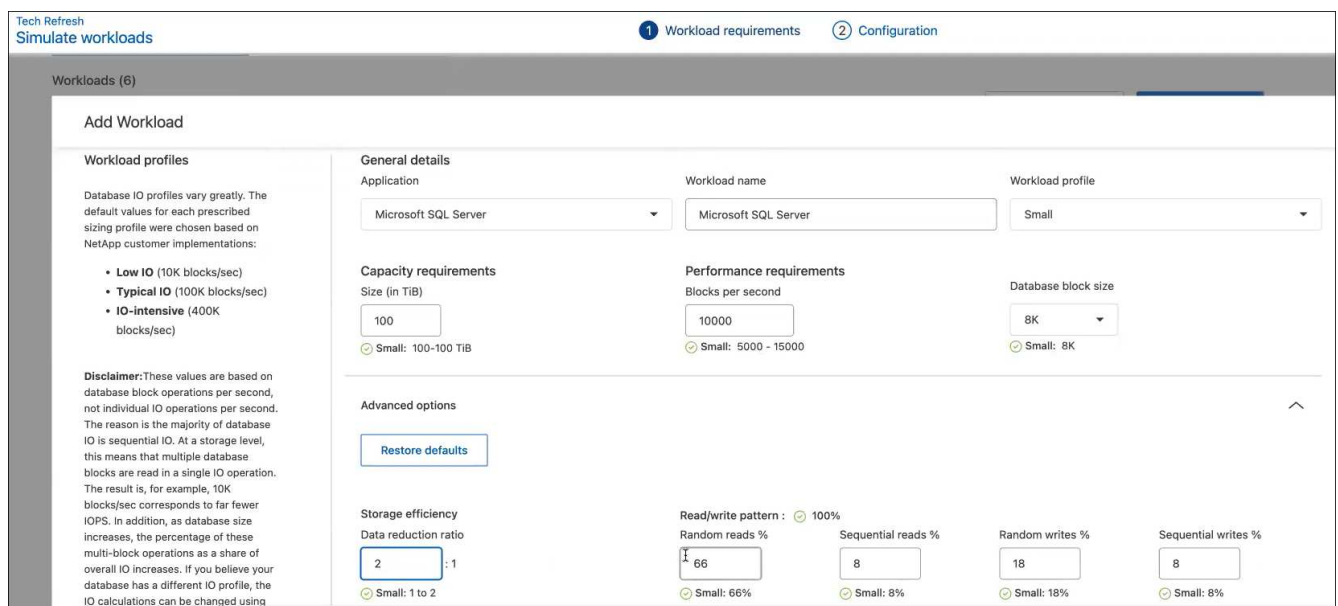


2. 作業環境を選択します。
3. [Actions]列で、*[Evaluate refresh]*を選択します。



ページ]

4. [ワークロードをシミュレート]>[ワークロード要件]ページで、*[ワークロードの追加]*を選択します。



ページ"]

5. アプリケーションを選択し、ワークロード名を入力して、ワークロードサイズを選択します。
6. ワークロードの想定容量とパフォーマンスの値を入力します。



ワークロードサイズをsmall、typical、またはI/O負荷の高いものを選択した場合は、デフォルト値が表示されます。

7. 必要に応じて、[Advanced options]の矢印を選択し、次の情報のデフォルト値を変更します。
 - * Storage Efficiency * : 一般的なデータ削減比率は2対1です。
 - ランダムリード% : ランダムリードの一般的な平均IOサイズは16Kです。
 - シーケンシャルリード% : 一般的な読み取りパターンはランダム50%、シーケンシャル50%です。
 - ランダムライト% : ランダムライトの一般的な平均IOサイズは32Kです。
 - シーケンシャルライト% : 一般的な書き込みパターンはランダム50%、シーケンシャル50%です。

容量の問題を確認して修正

キャパシティプランニングでは、現在と予測の両方で、環境内の容量が少ない領域を特定します。BlueXPの経済性：AIを使用してデータ量の増大を予測し、計画プロセスを支援します。Economic Efficiencyサービスは、お客様の環境内にあるこれらの容量の少ない領域を特定し、問題の解決方法に関する推奨事項を提供します。

BlueXPの経済性を活用することで、次のような目標を達成できます。

- "キャパシティプランニングのステータスを確認します"
- "容量を追加します"
- "コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放します"
- "アクションなしを選択し、再度確認するようにリマインダーを設定します"

キャパシティプランニングのステータスを確認します

環境内のストレージ資産の容量が、容量のしきい値である90%を下回っているか、下回っていると予測される場合は、Economic Efficiencyサービスによって容量が少ないリソースとして特定され、アラートが生成されます。また、Economic Efficiencyサービスでは、データを階層化するか容量を追加するかを推奨します。

容量問題の解決に役立つ次のタイプのデータを確認できます。

- プラットフォーム
- アセットが配置されている国
- 現在の容量と予測される容量（月別）
- 容量の使用率とパーセント

- レイテンシのトレンド
- IOPSのトレンド

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Capacity Planning *を選択します。
2. アセットの*[Evaluate Storage Options]*を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - 容量の追加：次に進みます "容量を追加しています"。
 - コールドデータの階層化：次に進みます "コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放します"。
 - アクションは必要ありません：次の手順に進みます "アクションなしを選択し、再度確認するリマインダを設定します"。

容量を追加します

BlueXPの経済的効率化機能は、予測されるデータ増加量に基づいてAFF システムに関する推奨事項を提供します。予測を受け入れるか、独自の予測を入力できます。これに基づいて、容量の増加予測を満たす、資産構成に最適な推奨事項が提示されます。

たとえば、既存のシリアル番号にシェルフを追加して容量を追加することを推奨します。

提案書は、見積もりのリクエストとして、または代替オプションのリクエストとして、ネットアップの営業チームに簡単に提出できます。

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Capacity Planning *を選択します。
2. アセットの*[Evaluate Storage Options]*を選択します。
3. [容量の追加]*を選択します。

アセットのデータが表示されます。

- 予測、利用率、レイテンシのトレンド、IOPSのトレンドを確認します。
- 推奨事項を確認するには、*[ストレージオプションの評価]*を選択します。

[Define Capacity Requirements]ページには、現在の容量予測と予測される容量予測、および予測される増加に基づいて推奨される増設用ストレージが表示されます。

4. 右側のオプションのいずれかを選択します。
 - *予測される増加率*に基づいて追加ストレージを推奨し、必要に応じてバッファパーセンテージを追加します。
 - *カスタムデータの増加に基づいてアドオンストレージを推奨*し、推奨される容量ではなく、必要な合計アドオン容量を入力します。

5. 「 * Continue * 」を選択します。

一連の推奨事項が表示されます。

6. 選択したアセットのシリアル番号に関する推奨事項を確認します。

7. 次のいずれかを実行します。

- 推奨事項を受け入れるには、*[次へ]*を選択します。リクエストはネットアップの営業エキスパートに送信され、ネットアップの営業エキスパートがお客様と連携して、必要な追加容量を確保します。
- 別のオプションをリクエストするには、[代替オプションのリクエスト]*を選択し、リクエストを入力して[電子メールの送信]*を選択します。ネットアップの営業エキスパートが容量要件に対応するためにご連絡するEメールが送信されます。

8. 追加容量の申請を確認し、*[確認して送信]*を選択します。

[Capacity Planning Status]ページが表示されます。

9. [Capacity Planning Status]ページでステータスを確認します。

コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放します

BlueXPの経済的効率化機能は、予測されるデータ増加量に基づいて推奨事項を提供します。予測を受け入れるか、独自の予測を入力できます。これに基づいて、予測される容量増加を満たす、ストレージ資産の構成に最適な推奨事項が提示されます。たとえば、コールドデータをクラウドストレージに階層化して容量を解放することを推奨します。これにより、もう1つのBlueXPサービスであるNetApp BlueXP階層化への接続が開始されます。

そこからデータを階層化し、BlueXPの経済性に簡単に戻って他のシステムに対処できます。

クラウド階層化プロセスには次のプロセスが含まれます。

- コネクタを展開します
- クラスタを検出
- クラウドへの階層化をセットアップする

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Capacity Planning *を選択します。
2. アセットの*[Evaluate Storage Options]*を選択します。
3. [コールドデータを階層化]*を選択します。
4. 次の手順は、BlueXP Connectorを導入済みでクラスタが検出されているかどうかによって異なります。
 - BlueXPコネクタを導入する必要がある場合は、該当するBlueXPのドキュメントを参照してください "[コネクタの作成方法](#)"。それ以外の場合は、既にコネクタをデプロイしている場合、コネクタをデプロイするオプションは表示されません。

- 。サービスでクラスタを検出する必要がある場合は、を参照してください "[オンプレミスのONTAP クラスタを検出](#)"。そうしないと、クラスタがすでに検出されている場合、クラスタを検出するオプションは表示されません。

BlueXPの優れた経済性により、BlueXP階層化サービスへの接続が開始されます。

5. [コネクタの追加]*を選択します。
6. クラウドプロバイダを選択し、*[続行]*を選択します。
7. または[導入にスキップ]*を選択します。

コネクタの導入後、BlueXP階層化サービスがクラスタを検出します（まだ検出されていない場合）。

8. クラスタが検出されたら、階層化をセットアップします。

階層化の詳細については、を参照してください "[BlueXP階層化ドキュメント](#)"。

もう一度確認するようにリマインダーを設定します

容量を追加したりコールドデータを階層化したりするのではなく、現時点では対処不要で、30日、60日、90日後に再度確認するようにリマインダーを設定できます。

手順

1. BlueXPの左側のナビゲーションで、* Governance > Economic Efficiency > Capacity Planning *を選択します。
2. アセットの*[Evaluate Storage Options]*を選択します。
3. [アクションは必要ありません]*を選択します。
4. 容量不足の可能性のある問題 について、再通知を受けるタイミング（30日、60日、90日）を選択します。
5. [保存（ Save ）]を選択します。

結果

この時間が経過すると、リスクのリストに再びリスクが表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。